



加藤は 日々精進

・教務部 (教務主任)

Q. なぜ日本語教師になるうと？

A. もともとは中学校の国語教師を目指していました。中学、高校でユニークな国語の男性の先生と出会ったのがきっかけです。日本語教師は、ある日偶然「月刊日本語」という雑誌が目にとまったのがきっかけで。

Q. 日本語教師の醍醐味は

A. 平仮名、カタカナしか分からなかった学生が日本語で冗談まじりに話せるようになった時。同じ学生なのにその中身の成長に感動させられます。

Q. ビジネスクラスを担当することが多いですが卒業生はどんな道へ？

A. ラジオ局に就職した学生もいれば、ママになって子供を連れてきてくれたりも。みんな国を越えて散らばっていくのでなかなか集まらないのですが、集まった時に活躍している様子が聞けるのは嬉しいです。

Q. 教務部の雰囲気は

A. 男女比は圧倒的に男性が少ないですが、経験豊富な先生には助けられますし、若い先生たちの考え方にも学ぶことがあります。

Q. 先生方はどんな先生がいますか？

A. ベテランの先生は本当に素晴らしい方が揃っています。他の先生方もプロフェッショナルだなと感じます。進学クラスの先生方も目標のために学生自身に妥協させず、力を惜しみません。進学指導はクラス担任ごとに行っていますが、皆さん親身に丁寧に対応してくださっています。

Q. どんな授業を心がけていますか？

A. 心に残る授業

盛り上がる楽しい授業をしたいと思いますが、その日に勉強した授業の内容が1つでもきちんと頭に残る授業をしたいです。

Q. 日本語教師になる前は？

A. レコード会社の営業。

色々なアーティストの音楽を売り出す仕事をしていて、どのようにショップバイヤーにPRするかを皆で考えるのはとても楽しかったです。

Q. 教務主任の仕事は

A. 抱える業務は多いですが、教務部チームがワンチームで協力してくれるので大丈夫！

Q. 教える仕事は？

A. 相手が人だからこそ難しくもあり楽しさも！

Q. 大変なところは？

A. 授業を作るということはその裏側が大変。説明を多くするよりも学生自らが考え、発話しながら、吸収できるようにしたい。

Q. 休みの日は何をしていますか？

A. 映画を見たり犬の散歩をしたりですね。甘えん坊のジャックラッセルテリアを飼っています。

Q. 学校の近くでおすすめのお店は？

A. 外苑前の蕎麦屋。(混んでいますが表参道の蕎麦屋も!) 安くて美味しい! 毎日昼はそばでもいいくらいですが、本当はラーメンが一番です!